

「宮澤弘幸追悼墓参と顕彰のつどい」記録

2025年3月1日

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会 <http://miyazawa-lane.com/>
「宮澤・レーン事件を忘れない！」北大・戦後世代をつなぐOB/OGの会

宮澤弘幸墓前に誓う「戦争ノー！」

2025.2.23「宮澤弘幸追悼法要墓参」と「顕彰のつどい」



宮澤弘幸七十九回忌法要と墓参



「宮澤・レーン事件を忘れない！」つどい



2月23日、新宿・常圓寺で宮澤弘幸七十九回忌法要と墓参、「北大・戦後世代をつなぐOB/OG会」主催で『宮澤・レーン事件を忘れない—2025 宮澤弘幸命日のつどい』が開催された。常圓寺祖師堂で法要後、参列者一同で供養塔に墓参した。つどいはDVD『宮澤・レーン事件構成劇「エルムに寄せて」』を鑑賞後、宮澤弘幸の姪・福原恵美さんが法要参列へのお礼を述べ、「真相を広める会」元代表・山野井孝有さんが戦争へ突き進む現状に危機感を訴えた。新宿ルノアールに移動した後、黒澤多佳子さんが「ダーチャさんが私たちに伝えたかったこと」、小宮まゆみさんが「戦時下、日本国内にあった敵国人抑留所」、奥井登代さんが「ダーチャさんを招いた札幌での活動報告」などを行った。「宮澤・レーン事件を忘れない」「戦争ノー！」のために、意義あるつどいとなった。

「宮澤弘幸追悼墓参と顕彰のつどい」記録

2013年1月に結成した「北大生・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』の真相を広める会」（真相を広める会）は、2013年、2014年、2015年、墓参と宮澤弘幸追悼顕彰の集いを主催した。2016年からは「宮澤・レーン事件を忘れない！北大・戦後世代をつなぐOB/OGの会」（北大OB/OGの会）が主催して、墓参とつどいを継続している。以下その記録。

【2012年】◆10月24日 宮澤弘幸の妹・秋間美江子さんが山野井孝有さんと一緒に、北大を訪問。兄の遺品アルバムを寄贈するとともに、兄の名誉回復を求めた。



◆11月12日 東京新宿・常圓寺で、秋間美江子さんの北大訪問報告集会を開催。ここで、宮澤・レーン・スパイ冤罪事件問題を考え、二度と繰り返させない運動を推進する組織結成の方向を確認した。



<「真相を広める会」結成>

【2013年】◆1月29日 「北大生・宮澤弘幸『スパイ冤罪事件』の真相を広める会」結成（札幌・エルプラザ）代表・山野井孝有（毎日新聞OB）、山本玉樹（北海道大学OB）。幹事・大住広人はじめ9人。



◆2月23日 「真相を広める会」主催で墓参後、「宮澤弘幸さん追悼顕彰と秘密保全法を考える集い」開催。宮澤弘幸の名誉回復と秘密保全法阻止の活動を推進することを確認した。66人参加。



新宿・常圓寺にあった宮澤弘幸が眠る宮澤家の墓 ⇒

【2014年】◆2月22日 墓参後、「宮澤弘幸追悼・顕彰2.22のつどい—悪夢を再来させる秘密保護法を許さない」。秋間美江子さんが「私はがんを患っているが、今の日本の政治の方が怖い」と訴えた。140人参加。



【2015年】◆2月22日 墓参後、「『戦争への道』許さず、秘密保護法廃止を！—宮澤弘幸追悼・顕彰2.22のつどい」。清水雅彦・日本体育大学教授が「秘密保護法が与える市民生活の影響」について講演。95人参加。



<「北大OB/OGのつどい」発足>

「宮澤・レーン事件を忘れない！北大・戦後世代をつなぐOB/OGの会（「北大OB/OGの会）」は、2016年2月開催の第1回つどいをもって発足した。

【2016年】◆2月22日 墓参後「戦争法・秘密保護法廃止を一宮澤弘幸の命日につどう 北大OB/OGのつどい」（新宿アイランドタワー41F）①「戦争法廃止へ、変革期の展望」吉田万三（元足立区長）②「手をとって美しき国を一宮澤弘幸の命日に思うこと」山本玉樹（「真相を広める会」代表、1958年発表の恵迪寮歌「手をとって美しき国を」作詞者）③「15年戦争体験者として語り継ぎたいこと」梁田政方（イールズ闘争時の道学連委員長）46人参加。



◆12月10日 「宮澤・レーン事件を忘れない—太平洋戦争開戦75周年につどう」（新宿・主婦会館）①「宮澤・レーン・スパイ冤罪事件の真相を広める活動について」福島清（真相を広める会・事務局長）②「軍学共同に反対して—特に北大への防衛装備庁資金の給付を危惧して」伊藤陽一（法政大学名誉教授）③出席者意見交換。30人参加。



【2017年】◆2月22日 墓参後、「宮澤・レーン事件を忘れない—強権国家づくりノー！—宮澤先輩の命日につどう北大OB/OGのつどい」①「真相を広める会活動と共謀罪」福島清（真相を広める会・事務局長）②「山川菊栄研究から見る戦前の運動・言論取締」伊藤セツ（昭和女子大学名誉教授）③「軍事研究の現状（防衛省・米軍）と学術会議の検討」伊藤陽一（法政大学名誉教授）④「東京の体制についての検討提案」泉定明（「北大OB/OGの会」世話人）⑤「札幌における活動」山本玉樹（北大OB）⑥

「構成劇公演」DVD鑑賞。35人参加。



【2018年】◆2月22日 墓参後、「強権国家NO！—宮澤先輩の命日に集う」①DVD上映「種まく人々—旭川師範の生活絵画事件や横浜事件などを描いている」②山本玉樹（「宮澤・レーン事件を考える会・札幌」代表）③基調講演「治安維持法による道内・北大における諸事件を振り返る」宮田汎（治安維持法国際同盟中央本部副会長）④「非常勤講師雇い止め問題」志田昇（非常勤講師）59人参加。



【2019年】◆2月22日 墓参後「宮澤・レーン事件を考えるつどい—思想教育統制の歴史から学ぶ」①DVD上映「レーン・宮澤事件—もう一つの12月8日」②挨拶・報告 山本玉樹（「宮澤・レーン事件を考える会・札幌」代表）③「よみがえる戦時体制—大学と教育をめぐる」荻野富士夫（小樽商科大学名誉教授）58人参加。



【2020年】◆2月22日 コロナ禍中のため追悼墓参のみ



【2021年】◆2月22日 追悼墓参のみ



【2022年】◆2月22日 追悼墓参のみ



【2023年】◆2月23日 墓参後、新宿・農協会館へ移動して「戦争に暴走し自由を圧殺した『宮澤・レーン事件』を忘れないつどい」①DVD上映「HBC開戦記念日特集 宮澤・レーン事件」②挨拶 山野井孝有（真相を広める会元代表）③講演「原発・憲法・ジャーナリズムのいま」青木美希（ジャーナリスト）56人参加。



◆4月23日 宮澤家遺骨 供養塔へ移設法要

新宿・常圓寺にあった宮澤家の墓（長男・俊光、次男・弘幸、父・雄也、三男・晃、母・とく）を管理されていた福原恵美さん（三男・晃長女）が施主となって、5人の遺骨を同寺内にある供養塔へ移設する法要を行った。



【2024年】◆2月23日 「宮澤・レーン事件を考えるとイクラク先生と大戦前夜の北大生」①DVD上映「人間の自由のために～シャッターをきれなかった2年間～あるイタリア人の昭和」（名古屋テレビ制作）②挨拶 山野井孝有（真相を広める会元代表）③挨拶 福原恵美（宮澤弘幸・姪）④「札幌での取り組み」奥井登代（宮澤・レーン事件を考える会幹事）⑤講演「クラーク精神と大戦前夜の北大生」藤田正一（北大名誉教授・平成遠友夜学校主宰）⑥特別発言 青木美希（「なぜ原発をとめられないのか」著者・ジャーナリスト）51人参加。



◆6月12日 ダーチャ・マライーニさん歓迎交流会

2024年6月11日～20日、宮澤弘幸が北大時代に交友を深めたフォスコ・マライーニの長女で、文学者のダーチャ・マライーニが来日した。12日、新宿・常圓寺に眠る宮澤弘幸の墓参後、同寺内で講演・交流会を行った。開催にあたって、泉定明をはじめ「真相を広める会」と「北大OB/OGの会」有志が実行委員会に参加した。



【2025年】◆2月23日 墓参後「2025 宮澤・レーン事件を忘れない！ 宮澤弘幸さんを偲ぶ墓前のつどい」（1面写真参照）①DVD上映「宮澤・レーン事件構成劇『エルムに寄せて』」②福原恵美さん、山野井孝有さん挨拶。

（以下は新宿ルノアールにて）③「ダーチャさんが私たちに伝えたかったこと」黒澤多佳子（イタリア語翻訳家、東京外語大卒）④「戦時下、日本国内にあった敵国人抑留所」小宮まゆみ（POW研究会）⑤「ダーチャさんを迎えて一札幌の報告」奥井登代（宮澤・レーン事件を考える会幹事）⑥「レーン先生の思い出」野上紘子（北大OB）35人参加。

（まとめ 福島 清=真相を広める会）

宮澤弘幸は1941年12月8日、特高に検挙された！

2016年から12月8日に“弾圧抗議墓参行動”を開始

北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会 <http://miyazawa-lane.com/>

事務局たより

第6号 2016年12月12日 chyda.kr@f8.dion.ne.jp

◇事務局 101-0061 千代田区三崎町2-19-8 杉山ビル2F
千代田区労協気付 T:03-3264-2905 F:03-6272-5263



12月8日
宮澤弘幸墓参
新宿・常圓寺

75年前の1941年12月8日、北海道帝国大学工学部学生・宮澤弘幸は、同大予科英語教師のハロルド・レーン、ポーリン・レーン夫妻らとともに特高に検挙された。暗黒裁判で、宮澤弘幸は懲役15年とされ網走刑務所に収監された。敗戦後、占領軍により釈放されたが獄中生活で体が破壊され、1947年2月22日、27歳でこの世を去った。裁判で一貫「冤罪である」と主張し闘い抜いた宮澤弘幸の無念を忘れてはならない。宮澤弘幸らを陥れた国家権力の無法・弾圧を許してはならない。
宮澤弘幸が眠る新宿・常圓寺の墓前で、その思いを噛み締めた。
(福島清 水久保文明)

12月8日を忘れまい！



2016年12月8日



2017年12月8日



2019年12月8日



2020年12月8日



2021年12月8日



2022年12月8日



2023年12月8日



2024年12月8日